

海上自衛隊入隊希望者を護衛艦「きりしま」体験航海に招待



自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長近藤一空尉）は、10月5日（金）海上自衛隊受験者3名を護衛艦『きりしま』の体験航海に招待した。

横須賀基地に停泊中の護衛艦「きりしま」に乗艦した3名は、沢山の自衛隊艦船を前にして「圧巻ですね」と目を輝かせていた。

体験航海は、海上自衛隊横須賀基地からH-1機子までと短時間であったが、引率の井坂広報官と共に艦橋に上がったり、装備品や機器等の説明を受けたりと貴重な時間を過ごした。参加者達は船内の通路や階段の狭さに戸惑っていたが「動く艦艇に乗れるとは思っていませんでした。貴重な体験ができました」「海上自衛官の仕事の間近に近づくことができ嬉しかったです。艦艇で仕事をしてみたい気持ちが高まりました」と嬉しい言葉があった。今回の体験航海参加者のうち2名は、一般曹候補生1次試験に合格しており、2次試験への意欲を高めてくれたようだった。その他の1名は現在「自衛官候補生」試験が終わり、合格発表の日を待っている。

市ヶ尾募集案内所は「体験航海は入隊希望者にとって更に自衛隊を理解してもらう貴重な時間となったため、今回参加してくれた受験者達が最終合格を掴むまでフォローし、これからも体験航海をつなぎ広報の有効な手段とし、入隊の意志固めに努めていきたい」としている。

母校訪問、後輩のラグビー部員を激励



教諭たちと写真に納まる
赤津1陸士（中央左）と内田2陸士（中央右）



後輩たちを前に顧問に紹介される
赤津1陸士（左から2番目）

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、10月11日（木）学校法人翔光学園横浜創学館高等学校において、広報官と平成30年3月に入隊した新配属隊員2名と一緒に母校訪問を行った。

これは学校開拓強化期間が設定され学校訪問をしたもので、同高校の卒業生で平成30年3月に一般曹候補生として入隊し現在陸上自衛隊東部方面航空隊本部付隊（立川）所属の赤津1陸士と、自衛官候補生として入隊し現在第1普通科連隊第3中隊（練馬）の所属の内田2陸士に來所してもらい実現したものである。

当初学校の面会室において当時担当していた教諭4名と懇談し、対面した教諭からは、まず2人の制服姿に驚き、発言や応答態度の成長ぶりに感心しきりだった。その後、赤津1陸士が所属していたラグビー部を訪ね顧問教諭の紹介の元、後輩達に自衛隊の事をユーモアを交えながら自慢げに話している姿がとても印象的だった。

後輩生徒からは「自衛隊はきついですが」「休暇はありますか」「勉強は大変ですか」等、訓練から生活面に至るまであらゆる質問が飛び出すと、自衛隊の事に関心を持っている後輩生徒に対し、先輩としてひとつひとつ丁寧に回答をしていた。

上大岡募集案内所は、「このような学校訪問を継続的に実施するとともに、学校教諭との連携を図り、志願者獲得に邁進していきたい」としている。